

去る8月20日、中国北京市のホテル会場で、「2012年アジア都市景観賞」の最終審査会が開かれました。景観賞の主催団体である国連ハビタット福岡本部とアジアハビタット協会、福岡アジア都市研究所、そしてアジア景観デザイン学会の代表に加え、地元中国を代表する都市計画や都市景観の専門家も出席し、日本、韓国、中国などアジア各国からの申請案件について熱心に審議しました。事前に各国で国内審査が行われ、そこで高い評価を得たものが最終審査会に推挙されていることもあって、バラエティに富んだ素晴らしい案件が多くありました。とりわけ日本、韓国の申請案件については、中国の審査委員からさまざまな視点によるコメントがなされ、示唆に富む意見が多く聞かれました。最終審査会にノミネートされた案件は十数件に上り、その中から「2012年アジア都市景観賞」の授賞対象が選出され、11月27日の表彰式で正式に発表されます。



審査会の模様



関係者記念撮影